

株式アナリスト<黒岩の眼>

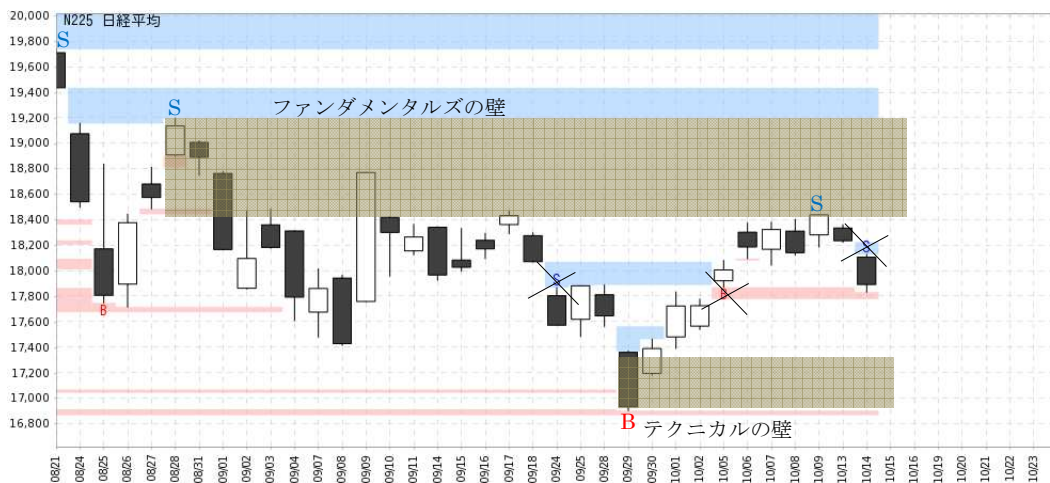
「売り先行のあとは、一段安の展開か」

昨日の米国株式相場は下落。ダウ工業株 30 種平均は 157.14ドル安の 16924.75、ナスダック総合指数は 13.76 ポイント安の 4782.85 となった。また、時間外取引の日経平均先物(円建て)は 17745 円付近での推移。したがって本日の東京株式相場は売り先行の展開を想定。下値を試すものと思われる。

日経平均の日足チャートでは昨日、窓を空けて下落。再び弱気相場に転じたことを意味しており、下値不安がかなり高まっている。

上方の巨大なファンダメンタルズの壁が再確認されたことで、軸は大きく下向き。急落のリスクが高まっている。

<日経平均、日足>



本日は売り先行のあと、一時的に下げ渋る可能性もあるが、基本的には下方のテクニカル壁を試しに行く展開となりそうだ。17000 円台前半あたりまでは、比較的スムーズに下落するだろう。問題は、このテクニカル壁が崩壊しているか否か。もし、崩壊していれば、一気に 16000 円台に突っ込むこともあり得る。その場合の下値メドとして意識されるのは、16500 円付近の窓となる。

本日、日経朝刊で気になったのは、「野村アセットがETF3 本の新規設定を停止する」という記事だ。運用資産規模が膨らんだことで、先物市場への影響が大きくなったことが要因だという。

この記事は2つの面で見ることが必要がある。ひとつは本当に先物への影響が大きく、相場が変動しやすいという点だ。もうひとつは、取引終了間際に大幅に先物の変動することで、トラッキング・エラーが生じるという点である。この3本のETFが日経平均と連動しなくなっており、投資家が不利を被るということもあるのだろう。いずれにせよ、運用資産額が大きくなりすぎるとこういう弊害が起こることになり、投資信託は構造的欠陥を抱えているとも言える。

株式アナリスト「黒岩の眼」は「窓勝会会員限定コンテンツ」です。無断転送・流用・複製等は堅くお断りいたします。また、当コンテンツは黒岩泰本人の個人的な見解であり、株式投資等を勧誘するものではありません。投資の最終判断は自己責任でお願いいたします。<株式会社黒岩アセットマネジメント> 識別番号 596887358



株式会社黒岩アセットマネジメント代表取締役
黒岩 泰

<経歴>

山一証券で営業を経験したのち、フィスコで執行役員、マーケットバンクでゼネラルマネージャーなどを経て、09年4月に独立。テクニカル分析が専門だが、ファンダメンタルズ、マクロ経済などにも精通。幅広い情報源と鋭い分析で、独自の相場観を展開する。

<主な著書>



究極のテクニカル分析
黒岩流「窓・ひげ理論」



最強のテクニカル分析
黒岩流「窓・壁理論」



黒岩流「窓・壁・軸理論」

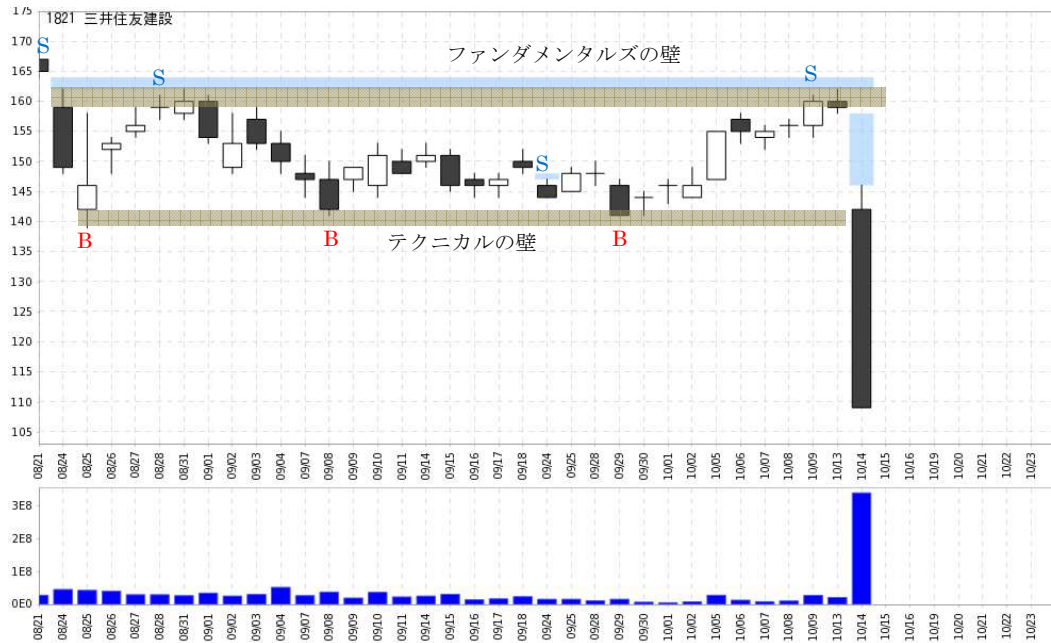


eワラント必勝テクニック

株式アナリスト<黒岩の眼>

もちろんこの構図は、国債市場における日銀とまったく同じであり、「池の中の鯨」といわれる所以でもある。株式や国債の相場を意図的に操ったりすると、こういったジレンマに陥ることになり、最後はその後処理に追われることになる。日米ともに金融政策が手詰まりとなっていることと並行して、今の株式市場を取り巻く厳しい環境ということで理解しておきたい。

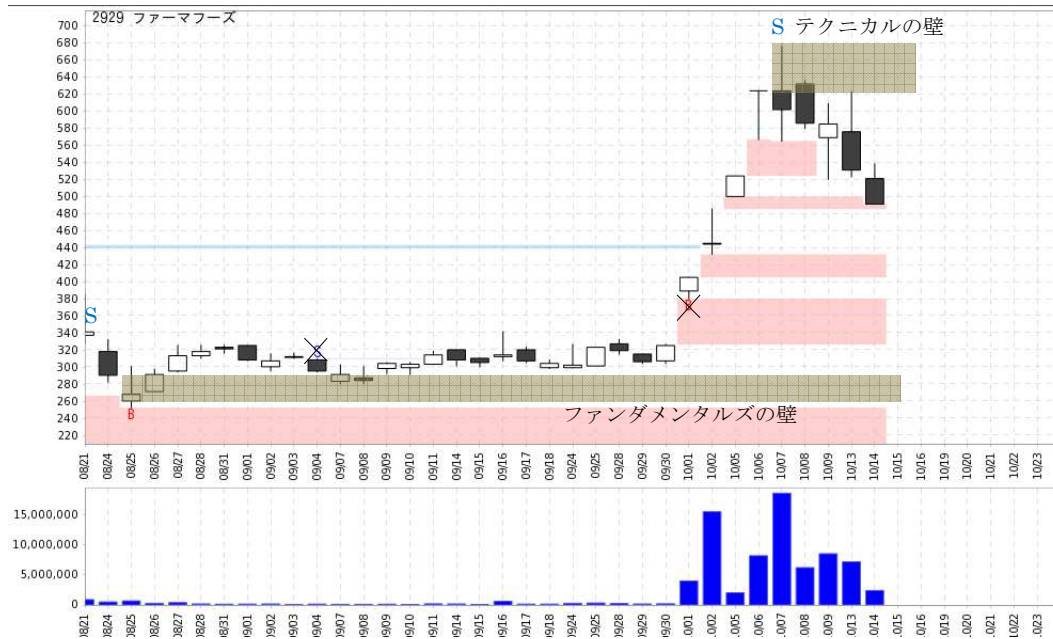
【売り】三井住友建設<1821>



ストップ安売り気配。3000万株以上の売り残りとなっている。「偽装データで基礎工事を施工」と伝えられており、投げ売りが殺到している。ボックス下限であったテクニカル壁を一気にブレイクしており、底なし状態へと突入している。

株式アナリスト<黒岩の眼>

【売り】ファーマフーズ<2929>



売り一巡後は下げ渋る場面もあったが、下値を試しにくく展開となっている。上方の壁はテクニカルの壁の可能性が高く、調整は短期的との見方だが、下方にはまだ2つの大きな窓が残されている。下値不安はやや大きいと言える。

【売り】田中化学研究所<4080>

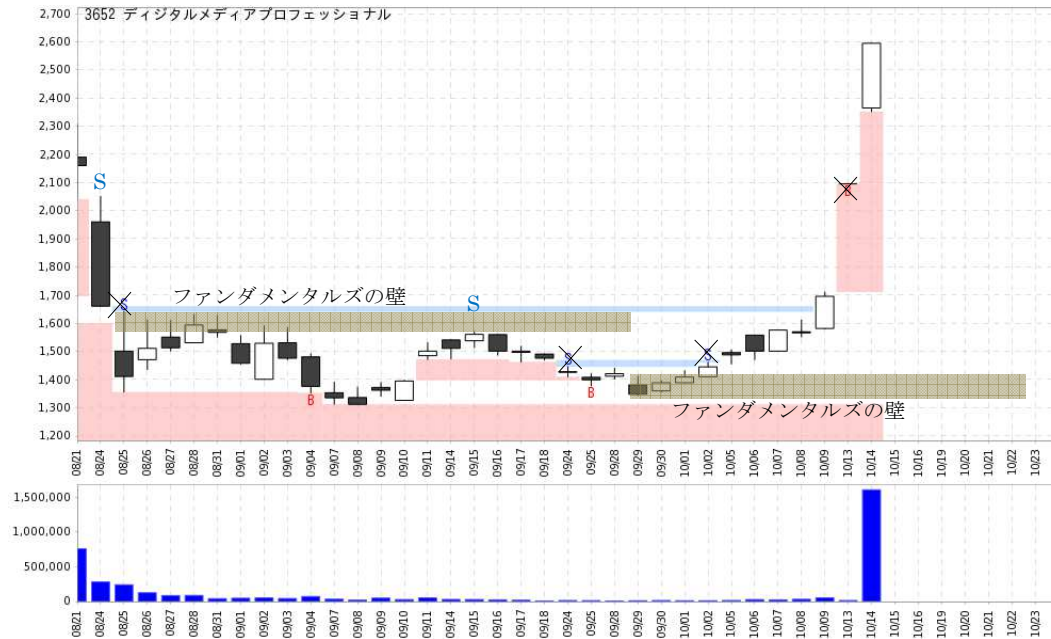


上ひげが出現し、上値が重いことを示している。ファンダメンタルズの壁が切り下がっており、軸が下向きに傾いている可能性が高いことを示している。目先は下方の窓を埋める展開となりそうだ。

株式アナリスト「黒岩の眼」は「窓勝会会員限定コンテンツ」です。無断転送・流用・複製等は堅くお断りいたします。また、当コンテンツは黒岩泰本人の個人的な見解であり、株式投資等を勧誘するものではありません。投資の最終判断は自己責任でお願いいたします。<株式会社黒岩アセットマネジメント> 識別番号 596887358

株式アナリスト<黒岩の眼>

【買い】DMP<3652>



ストップ高買いの気配。58万株の買い残りとなっている。短期的な過熱感強いものの、軸は大きく上向きに転換。短期的な振るい落としのあとは、さらに上値を試す展開を想定したい。

<重要イベント(予定・推測が含まれています)>

- 10/15 EU首脳会議、16日まで
- 10/15 米9月消費者物価
- 10/16 米韓首脳会談
- 10/16 米鋁工業生産
- 10/16 米10月ミシガン大学消費者態度指数
- 10/16 9月欧州新車販売台数
- 10/19 中国7-9月期GDP、粉飾疑惑晴らせるか?
- 10/19 中国9月小売売上高、鋁工業生産高
- 10/30 金融政策決定会合
- 11/4 郵政3社上場
- 11/18 APEC首脳会議、19日まで、TPP合意にリミット?
- 11月 7-9月GDP、2期連続マイナス?
- 11月 補正予算議論?
- 12月上旬 米政府機関閉鎖?債務上限引き上げ期限
- 12/16 FOMC
- 1月 がん登録
- 3/26 北海道新幹線開業
- 5月 伊勢志摩サミット
- 16年夏 参院選
- 16年半ば マザーズ先物上場
- 17年4月 消費税増税10%
- 18年7月 日米原子力協定満期
- 18年 サントリー上場
- 29年4/13 小惑星が地球に衝突、
- 36年 小惑星が地球に衝突、ボイド・ブッシュマン博士

株式アナリスト「黒岩の眼」は「窓勝会会員限定コンテンツ」です。無断転送・流用・複製等は堅くお断りいたします。また、当コンテンツは黒岩泰本人の個人的な見解であり、株式投資等を勧誘するものではありません。投資の最終判断は自己責任でお願いいたします。<株式会社黒岩アセットマネジメント> 識別番号 596887358